

脳神経外科

脳卒中を疑うとき

急に左半身が麻痺した時は、右脳に異常があり、言葉がでなくなると左脳に異常があります。脳は、それぞれの部位に特定の働きが決まっています。脳卒中で症状が起こると、脳障害の対応する部位を推定し診断します。麻痺・しびれ・ふらつきや言語障害などわかりやすい症状は診断が容易です。

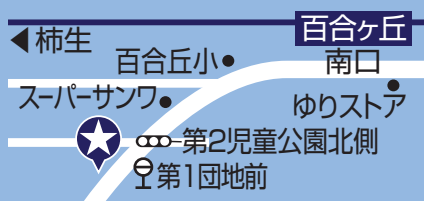
しかし脳は、情緒や判断、認識など高度な機能もあり、これらの機能が障害されると診断が困難です。

高齢者の脳卒中は、認知症や異常行動など典型的でない症状も多くみられます。頭痛で来院したくも膜下出血を、偏頭痛と診断する。回転性めまいで来院した小脳出血を、内耳性めまいとして耳鼻科へ紹介する。視野障害で来院した後頭葉の病変を、眼科疾患と診断する。性格の変化で来院した前頭葉の脳卒中を、精神科へ紹介するなど、よくある診断に迷う例



石田 和彦

■ 脳神経外科・整形外科
いしだクリニック



☎044-955-0250
麻生区百合丘2-7-1
<http://www.ishida-clinic.or.jp/>

です。